

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	本人の希望、思いの把握や生活の中で自己決定をしていただく機会が少ない。	入居者の希望や思いを聞き、職員間で共有する。日常生活以外でも自己決定の機会を多く設ける。	カンファレンス時、センター方式のシートを使用して本人の希望、思いを確認し情報を共有する。また日常の中で自己決定していただく場面を多く作るのはもちろん誕生日のプレゼントも可能な範囲で一緒に店に出かけて希望に沿ったものを購入していただく。	6ヶ月
2	10	面会時に話をする程度で家族より意見、要望が出る機会が少ない。	家族の意見、要望を聞く体制を作る。	年2回行われる家族参加の行事の際、行事の感想と共に日常等に対する意見、要望を記入していただくアンケートを行ない家族からの意見、希望を聞く機会を設ける。また面会時にも職員から意見、要望はないか声をかける。	12ヶ月
3	33	重度化した場合に向け事業所として支援できる範囲を早くから本人、家族に相談し話し合う機会があまりない。	事業所として支援できる範囲を検討、確認する。	これまでに退居された方の状態、対応を振り返る。その中で支援できる範囲を検討し必要に応じて早い段階から本人、家族と話し合う機会を設ける。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。